平成28年度 第8回

日南市教育委員会

会議録

平成28年10月25日(火) 午後3時から
南郷町総合支所 2階第1会議室

1 会議の名称 平成 28 年度教育委員会 第 8 回会議（定例）

2 会議日時 平成 28 年 10 月 25 日(火)
午後 3 時から午後 5 時まで

3 出欠確認

(1) 出席委員 迫元茂保 八木真紀子 郷谷純一
黒木康英 崎村洋子

(2) 事務局 学校教育課長 早田秀穂
学校教育課学校教育担当監 土持光司
生涯学習課長 岡本武憲
学校教育課長補佐兼管理係長 和田考巨
学校教育課指導主事 西川元
学校教育課管理係主査 瀬田順司

4 場所 南郷町総合支所 2 階第 1 会議室

5 傍聴者 2 名

6 開会

【迫元委員長】

「皆さん、こんにちは。

本日は、この会が始まる前に南郷町内の文化財等の視察を行いました。

岡本課長には、いろいろお世話になりました。

ありがとうございました。

さて、昨日ぐらいからようやく秋晴れになったようです。

朝夕と昼の気温の差があり、体調が上手く調整できない時期になりました。

体調には、十分気をつけていただきたいと思います。

それでは、平成 28 年度第 8 回教育委員会定例会を開会いたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、全員出席です。（傍聴者 2 名）」

【早田課長】

「本日は、事務局全員出席です。」

8 活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 9月26日、共同募金委員会第2回審査委員会があり、出席いたしました。
平成28年度共同募金による平成29年度の助成配分計画について、協議し、審査委員会としての案をまとめました。
- ② 9月27日、議会本会議があり、出席いたしました。
この日は、予算審査特別委員会、各常任委員会に付託してありました案件について報告がありました。
その後、質疑、討論があり、採決がありました。ほかに、陳情2件、諮問1件についても審議をいたしました。
- ③ 10月3日、共同募金開始式と始業時募金があり、出席いたしました。
私は、クリーンセンターと消防署に募金のお願いに行きました。
- ④ 10月4日、議会本会議の最終日で出席いたしました。
これまで上程された案件について、各委員会からの報告の後、採決があり、可決されました。
その後、追加議案が上程され、審議をし、可決されました。
- ⑤ 10月12日、油津小学校の学校訪問があり、参観いたしました。
油津小学校は、全体として非常に落ち着いていました。
校長の方針を職員がしっかり受け止め、具体化されていると感じました。
特に学力向上の基本となる共感的人間関係づくりや学び合いなどについての研究がなされておりました。
- ⑥ 10月17日、第3回日南市総合教育会議があり、出席いたしました。
これは、委員の皆様にも出席いただいたところです。
今回は第3回目で、教育大綱について、パブリックコメントの結果も踏まえながら、最終的に案を決定いたしました。
- ⑦ 10月21日、飫肥小学校の学校訪問があり、参観いたしました。
飫肥小学校では、指導部門と事務部門の連携がよく取れており、徴収金の集金や校外との交渉等を事務室が担当し、先生方が児童と向き合う時間の確保がなされておりました。
研究の方では、国語科を中心に学び合いの学習についての研究がなされておりました。
- ⑧ 10月22日、小学生を対象とした処平塾があり、参観いたしました。

今回は、算数についての塾でした。

宮大生の協力で、非常に沢山の算数の活動が用意されておりました。

170名を超える子供達が非常に楽しく、しかも興味深く取り組んでいるのが印象的でした。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

- ① 10月4日、日南市生涯学習推進会議があり、出席しました。

報告案件及び推進大会の講演会の講師の件について、委員の皆様にご意見を伺いし、方向性を決定しました。

- ② 10月5日、日南市発明工夫典展表彰式があり、出席しました。

これは、小学生・中学生・高校生・専門学校生を対象に作品の募集をしますが、本市では、小学生以外の応募がありません。

全体では、90作品の応募があり、その半分以上の56作品が油津小学校でした。

各学校での計画的な取り組みがなされていないようなので、校長会では、各学校が積極的に児童・生徒に対し作品制作を促してほしいと話しました。

日南市の文化祭では、小中学生の作品を募集して展示することになっています。

それについて、今年は、かなりの数の応募があったと聞いています。

子ども達には、作品制作といった分野についても興味を持たせながら、教育の充実のためにしっかりやらせたいと思っていますところです。

- ③ 10月15日、那覇市・犬山市との姉妹都市交流会があり、出席しました。

毎年、那覇市と犬山市から商工会議所の方や議員、市長、副市長が来られます。

今年は、那覇市の市長が来られて、日南キューブについて、話をしたところ、興味を持っていただきました。

- ④ 10月20日、九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会があり、出席しました。

その時に文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長森田正信氏が来られ、文部科学省の学習指導要領改訂に伴う今後の教育の在り方等についてお話を伺いました。

今後の学習指導要領改訂スケジュールは、平成29年度に学習指導要領改訂の周知徹底をし、平成30年度から幼稚園、小学校、中学校が先行実施されます。

この先行実施で特に現場が不安に感じていることが、小学校の5・6年生の英語科です。

現在の教育課程において、英語活動を行っていますが、これが教科に変わります。

週の授業時間は、小学5、6年生が29時間ですが30時間になります。そして、3、4年生に英語活動が入ります。

これについても週1時間授業が増えます。

この増える時間をどうするかということになります。

文部科学省としては、この1時間増える分について、週時程に入り込むのであまり問題がないという認識です。ところが、小学校の先生方に直接伺いますと研修の時間等はこれまでどおり確保したい意向です。

今後、教務主任会の役員や指導主事とどのような考えが一番いいのかを相談しながら、日南市の基本スタイルを示せればと思います。

小学校が平成32年度、中学校が平成33年度から全面実施になります。

中学校は、英語の授業が全て英語で行われるような形になっていくようです。

今後、どうなっていくのかは、文部科学省の説明でも分からない部分がありました。質問が許されたので、小学校の英語の指導者はどのように確保するのかという質問をしました。

私の発言の主たる内容は、小学校にも英語の専科を配置すべきだということでした。

文部科学省の考えは、もちろんそのようなことも検討しているとのことでした。

それから教職員のOBで過去に英語を指導された方などいろいろ検討しているとのことでした。

文部科学省の案は、理解できるものでしたが、今後は財務省との折衝にかかっているものと判断しました。

小学校5、6年の先生方が英語の授業をしなければならないという形になっていくとなかなか難しいと思います。

ある程度の時期になったら示せるように協議を行っているという回答をもらいました。

それから、以前から話題になっていますが、子ども達の未来に関する予測として、今の小学生の65%は、大学卒業後の年になった時に、今はない職業に就くだろうと言われています。

これは、ロボットと人工知能が急速に広まっていくことによるものだと説明されました。

また、今後10年から20年程度で約50%程度の仕事が自動化されていく可能性が高いということも説明されました。

そして、今後の学び方としては、何が出来るようになるか、何を学ぶか、どのように学ぶかというようなことを念頭に入れて、アクティブ・ラーニングを進めていくということでした。

主にこのような話がありました。

- ⑤ 10月24日、国際ソロプチミスト図書寄贈があり、出席しました。
 20年連続で通算約600冊の図書をいただいています。
 女性を支援するということで、女性を対象とした本がまなびピアの市立図書館に並べられています。

以上、活動報告を終わります。

9 前回の議事録承認

作成中のため次回の定例会議で承認

10 議題について

協議1 学力向上の現状と対策について

(西川指導主事) (委員長)	学力向上の現状と対策について説明。 ありがとうございました。 いま、資料を基に説明をしていただきました。 今の説明で、何か質問、感想あるいは、学校訪問等で感じられたことも含めて、本市の学力向上ということで何かありましたらお願いします。
(郷谷委員)	今、資料に基づいて、西川指導主事に説明いただきましたが、おおむね良好ということで理解してよろしいでしょうか。
(西川指導主事)	はい。
(郷谷委員)	この試験を受ける前に該当学年の子どもたちに対して、事前指導はありますか。 例えば、解答時間が設定されてあるので、時間内に解答できそうなプレテストみたいなものはあるのですか。
(西川指導主事)	似た傾向のものはしていませんが、CRTテスト等決められた時間のテストというのは、今までも行っています。
(郷谷委員) (教育長)	時間が足りないというのは、考える時間が長くて書けないのですか。 まず問題に慣れていないということだと思います。 教育委員会としては、練習という形で3学期に過去の問題を解かせる取組みを行っています。 それでも、文章が長いのでなかなか子どもたちは、読み切れなくて

(崎村委員)

解答にとまどう状況は、あるのかもしれませんが。

私の考えも、テストを受けるために練習するということは、全国学力テストの趣旨とは違うのかなと思いますが、普段なかなかこのような問題に触れる機会がない児童・生徒にとっては、今のやり方がいいではと思っています。

(教育長)

今回、日南市の中学生は全ての教科で全国を上回っていました。

県の方からどういった指導をされているのかと聞かれました。

特別なことをしていませんが、ただ言えることは、子どもたちが落ち着いた学校生活ができているということをお話しました。

(八木委員)

中学校の生徒質問紙の中で予習をしていないとありますが、予習しないといけないのですか。

どちらかというとなら復習が中心だと思いました。

(土持担当監)

この生徒質問紙の聞き方と子ども自身の捉え方で違いがでてくるのではと思います。

(委員長)

今、説明していただいた中に、課題が見られる内容というのがあります。

割合の問題などはよく小学校では、難しい問題とされています。

授業の中で割合の概念とか知識を取り扱う時にただ言葉として教えるだけで終わっていないかというところも授業改善のひとつになると思います。

今度は、その子どもが他の人にその言葉を使って説明するとかそのようなことを授業の中に取り入れていくなどの改善をするといいのではと思います。

なぜなら、本人が理解していないと他の人に説明できないからです。

今回、中学校が全ての教科である程度良くなりましたよね。

学校訪問で参観すると前に比べて中学生がよく自分から発表することが多くなっています。

友達同士で話したり、説明したりとかそういう授業が最近多く見られるような気がします。

そういう授業を普段からやっていくとこのような課題もある程度解決ができると思います。

それと、疑問に思ったことを本で調べることが難しいというのが中学生の課題にでていました。

このようなことは、例えば、総合的な学習の時間で課題を設定して、自分たちで調べていくという活動をしますよね。

各教科で培われているその力もここで生きてくるのではという気も

するので、学び方を教えるものにも力を少し注いでいくと違ってくるという感じがしました。

質問紙の方については、非常にいい結果がでていると思います。

日南市の子どもたちの良さがでて、全国に誇れる良さだと思います。

ここに課題として挙げられたことをみんなで取り組んでいけばいいと思います。

是非、学校訪問の時に指導主事の先生方からもそのようなことに触れていただきますと先生方の意識が変わると思います。

この件については、終わります。

協議 2 平成 29 年度他市町村教育委員会との意見交換会について

(瀬田主査)

平成 29 年度他市町村教育委員会との意見交換会の調査結果について説明。

(委員長)

ありがとうございました。

手元に調査結果の資料があります。

先ず、提案された意図や思いをお聞かせください。

崎村委員お願いします。

(崎村委員)

私は、防災教育と福祉教育について提案をしました。

宮崎の学校で地域の人と津波に備え、地区の危険な場所や避難する場所の地図を作っているとお聞きしました。

防災教育は、非常に大切であり、興味があったので提案しました。

次に福祉教育については、認知症の方が増えている傾向の中、そのような方に対して、子ども達に理解してもらいたいと思い提案しました。

(委員長)

続いて、郷谷委員お願いします。

(郷谷委員)

地球温暖化の影響かもしれませんが、いろいろな所で大きな自然災害が起きています。

そういう大きな意味での環境教育が必要だと思い提案しました。

(委員長)

私は、ふたつ提案しました。

まず、学校と地域との連携について、ひとつは、日南市が平成 27 年度から学校支援地域本部事業を立ち上げ、地域との連携を図った指導を行っていること。また今度の新しい学習指導要領にも地域との連携を図りながらということがかなり出ていたことを踏まえ提案しました。

次に公立小中学校と高等学校との連携については、中学生が市外に

(教育長)

進学していく状況があり、出来れば市内の高校で学習して羽ばたいていただければという思いがあり提案しました。

同じような状況の市町村に話が聞ければと思いました。

今、それぞれの思いや理由を話していただきました。

後は、自由に意見をだしていただければと思います。

防災教育については、待ったなしで取り組むべきことです。

先日、新聞で災害時に学校がどのような対応をしたかについて、熊本県の小学校の事例が掲載されていました。

それについて、私自身も非常に危機感を持ちまして、避難所の対応など、事前にそのような準備ができていない中で学校が対応できるのかと思っています。

そういう意味で熊本県の小学校の事例は、非常に参考になるのでそういった所と情報交換をさせていただくと非常にありがたいと思っています。

(委員長)

できるだけ喫緊の課題のところに行くことがいいと思っていますので一番目を防災教育、二番目を学校と地域との連携に関する事で検討するという事でよろしいですか。

(了承)

行き先は、事務局にお任せします。

この件については、終わります。

1 1 報告

市議会定例会報告について（9月議会）

学校教育課所管分 早田課長説明

生涯学習課所管分 岡本課長説明

1 2 研修 日南市の文化財等の活用・保存について

岡本課長説明

1 3 その他

(1) 11月行事予定について

(2) 第9回 教育委員会会議（定例）

① 日時 平成28年11月18日(金)、午後1時30分から

② 場所 議会棟・全員協議会室

1 4 閉会